

中小企業金融の再生に向けた取組み

2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

(3) 要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止のための体制整備強化並びに実績公表

具体的な取組み		対象先を選定し、「経営相談委員会」と営業店が共同して経営支援している。さらに「中小企業支援センター」についても、積極的に活用している。
スケジュール	15年度	<ul style="list-style-type: none"> ・5月に「経営相談委員会」を組織した。 ・6月に32先の対象先を選定した。 ・毎月「経営相談委員会」の会合を開催し、進捗状況を確認した。
	16年度	<ul style="list-style-type: none"> ・5月に63先程度の対象先を選定する。 ・毎月「経営相談委員会」の会合を開催し、進捗状況を確認する。 ・経営改善計画書を作成させる。
備考(計画の詳細)		<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な月次決算実施の指導、および把握 ・中小企業支援センターの活用 ・経営改善計画書の進捗状況の把握
進捗状況	(1)経営改善支援に関する体制整備の状況(経営改善支援の担当部署を含む) 15年4月～17年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・「経営相談委員会」と営業店が共同して経営支援に取り組んだ。 ・一部の対象先については、中小企業支援センターを紹介して指導を受けた。
	16年4月～17年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・15年度の手法を継承した。 ・「経営相談委員会」の会合に営業店長を同席させ、経営支援先の状況を報告させた。
(2)経営改善支援の取組み状況(注) 15年4月～17年3月		<p>基本方針 組合と取引先企業との関係をより強固なものとして、将来にわたり互いの安定的成長に寄与する。</p> <p>取組み内容 経営アドバイスのほか、中小企業支援センターの紹介などを実施した。</p> <p>支援先の改善内容 経営改善支援先として15年度は32先、16年度は63先を選定し、主に月間売上高および収支状況について聞き取り調査を実施し、経営者の業況把握意識の高揚を促した。その結果、売上高、仕入コスト等、数値に対する経営者の関心が高まり、営業上の改善策等を考慮する意識が生まれつつある。</p> <p>課題 ノウハウの蓄積が課題である。</p>

	16年4月～17年3月	<p>基本方針 組合と取引先企業との関係をより強固なものとして、将来にわたり互いの安定的成長に寄与する。</p> <p>取組み内容 経営アドバイスのほか、中小企業支援センターの紹介などを実施した。</p> <p>支援先の改善内容 経営改善支援先として63先を選定し、主に月間売上高および収支状況について聞き取り調査を実施し、経営者の業況把握意識の高揚を促した。その結果、売上高、仕入コスト等、数値に対する経営者の関心が高まり、営業上の改善策等を考慮する意識が生まれつつあり、結果が早くも表れてきている支援先もある。</p> <p>課題 ノウハウの蓄積が課題である。</p>
--	-------------	--

(注) 下記の項目を含む

- ・ 経営改善支援について、どのような取組み方針を策定しているか。
- ・ 同方針に従い、具体的にどのような活動を行ったか。
- ・ こうした取組みにより支援先にどのような改善がみられたか。
- ・ こうした取組みを進め成果を上げていくための課題は何か（借手の中小企業サイドの課題を含む）